

今月もいろんなイベントや出来事がありました。最近は、本当に快適な気候でいろんなイベントに参加したり、外に出て何かをしたりするのが楽しいです。

コンサート

8月最終の金曜日にディジョンの中心街でコンサートが開かれました。私は知らなかつたのですが、先生がおっしゃるには有名なアーティストが参加していたようです。これまでにも何度も中心街で音楽のイベントが開かれていて参加しましたが、今回のコンサートが一番観覧に来ている人が多く、警察の配備やセキュリティも厳重でした。日本でも音楽のコンサートに行ったことがなかったので、大きなステージとアーティストを映し出す液晶画面、大勢で一緒に歌うその場の雰囲気が新鮮でとても楽しい夜を過ごしました。前の報告書にも書いたかもしれません、このようなコンサートや美術館はフリーで入場することができます。ディジョンはそれほど大きな街ではないので、会場で学校の知り合いに会い、人数が増えながら一緒に回ることができました。程よい街の大きさで中心街が賑やかで、自然や公園がいっぱいあるところはディジョンの好きなところの一つです。

コミュニケーション・言語の壁

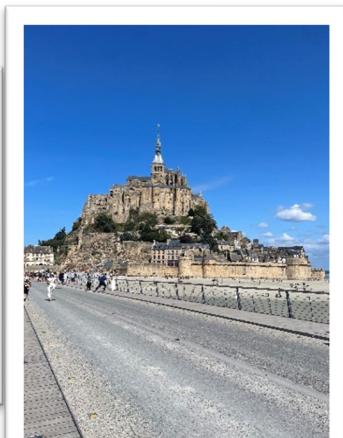
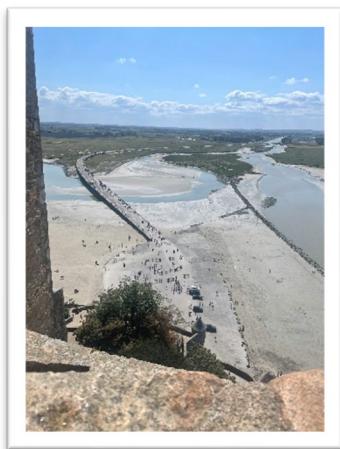
これは、今月だけで感じた難しさではなく到着した当初から感じていたものです。しかし、それを感じるのは店員さんなどの街中で一時的に会う人との間で多かったです。私は、6月からの二学期目から他の国から来た学生と過ごす時間がとても増えました。それから、友達というとても近くの存在との間でコミュニケーションを取る難しさを感じました。一番話す機会が多いので、より大きな壁に感じています。友達と話しているいろんな国との文化の違いを知ったり、日本について質問してくれて興味を持って話を聞いてくれたりして、自分が知らないことを知る機会が増えて楽しいです。また、どんな目的を持ってここに来たのかを聞くことで、いろんな人がいていろんな背景があると感じると共に自分も目標を達成して将来どんなことをしたいか考えることができます。友達との間ではお互いフランス語を話しますが、私は伝えたい事すべてをすぐに正確に伝えられるほど流ちょうに会話することはできません。翻訳機を使えば簡単ですが、語学を勉強しに来ている身としては使いたい方法ではありません。会話をしていても「?」となったり、自分が伝えたいこととは違ったニュアンスで受け取られてしまってお互いの理解が行き違ったりし

たことがありました。それでも、話せるようになるには誰かと話すことが一番有効な方法なのでたくさん話すしかありません。6月、それ以前に比べたら会話できるようになると感じますが、まだまだ練習が必要です。帰国するまで、できる限り壁をなくせるよう話し続けようと思います。

夏のバカンス モンサンミッシェル・レンヌ

8月のうち2週間は任意のバカンスがありました。私も、2日間利用して旅行に行きました。一番の目的はモンサンミッシェルです。フランスに来る前から行ってみたいと思っていた、このバカンスを利用していくしかないと思い計画しました。レンヌはモンサンミッシェルまでのバスが発着していて、クイニーアマンやガレットの産地であるブルタニュ地方の街です。レンヌを拠点にしてモンサンミッシェルは日帰りで、レンヌも観光しました。

モンサンミッシェルは、世界遺産に登録されている修道院で多くの観光客が訪れます。私が行った時も島内の道は混雑していて止まって歩いて繰り返して修道院にたどり着きました。天気が良く修道院の上からは一面の砂浜と海が見え、感激しました。またいつか、家族と訪れたいと思いました。ガレットやクイニーアマンも食べて、大満喫しました。今回は、Airbnbで滞在先を予約しフランス人女性の家に泊りました。初めてだったので緊張もありましたが、家主からの家の説明を理解することができました。また、レンヌでのおすすめを聞いたり、自分がフランスで何をしているのか説明したりして先生ではないフランス人と話すことができて嬉しかったです。





←寮の庭で、日本人でお話会兼ご飯会をしました。ご飯を食べたり、飲んだりしながらいろんな話をしてあっと言う間に時間が過ぎました。留学に来てたくさんの日本人とも出会いました。その方たちと過ごすこともここでしかできないことで、貴重な時間だと思っています。

フランスのぶどう畠→

フランスに来てからぶどう畠を見ていないと思って、休みの日に近くのぶどう畠を見に行きました。ちょうど収穫をしていて、いっぱいぶどうがなっていました。一面のぶどう畠で、フランスと言えばワインなのでそのぶどう畠を見ることができてよかったです。



この報告書を書いているのは9月の始めて、もう帰国する月になりました。帰るためにしなければいけないことを少しづつ始めていて、終わりが近づいてきていることを実感します。残り僅かなフランス生活を楽しみながら、帰国後に受検を予定している検定に合格できるようモチベーションを保って勉強をしていきます。